甲　第　　号証

陳述書

２００４年5月２３日

名古屋地方裁判所民事第６部　御中

住所　埼玉県川越市○○○○

（三次）　氏名　鋤打世新（筆名）

日本政府が武装した自衛隊を戦地、イラクに派遣しました。
誰にも分かる憲法違反が公然と行われました。
さあ、
裁判所の出番です。
憲法を守らなければなりません。

私は日本国憲法、平和憲法を持つ国の国民の一人として、
恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚する国民の一人として、
全世界の国民が、平和のうちに生存する権利を有することを確認した国民の一人として、

アメリカ合州国のイラク侵略に追随した我が国の自衛隊派兵、
これによってもたらされたイラク国民の恐怖と怒り、絶望に思いを寄せ、
加害者としての立場を強いられたくないという思いを込めて、

その良心に従って職務を行い、憲法に拘束されて職務を行う裁判官に、
憲法に従って、
現在行われているイラク派兵を差し止め、
イラク派兵が憲法に違反するとの判決を出すことを、

主権者の一人として、お願いします。
期待します。